

低山

Low Mount Club

'23.1 No.691

創立 60 年の歴史 **低い山を歩く会**

<https://www.hikuiyama.jp>

会員総数・59 名 (2023・1・1 現在)

《目次》

1 月号の山行プラン・・・2 大弛水峠(南高尾)／大町自然公園／六国峠／千葉 富山／宝登山

山行ルポ・・・・・・・・・・3 官ノ倉山石尊山／集中山行(八幡山、大正池、少林寺各コース)／中山道鳥居峠赤沢自然
休養林／大沢山／日光隠れ三滝／大戸緑地草戸山

低山だより・・・・・・・・・・8 2022 年秋の集中山行会計報告／山岳保険の JIRO を団体保険から個人保険に変更
することについて



ノウサギ

INFORMATION

1 月の編集委員会 1 月 12 日(木)15 時

1 月の集会・役員会 1 月 23 日(金)15 時

会場:IKE・BiZ

(としま産業振興プラザ)

電話:03-3980-3131

◎11 月の集会・役員会出席者・・17 名 ◎11 月の編集委員会・・4 名

◇山行届・事務報告などあらゆる山行の連絡 リーダーキャップ 熊澤美恵子

電話 090-5318-0292 メール:qqqu9ss9K@basil.ocn.ne.jp

◇入会・退会・住所変更・会報の発送・集会その他に関する問い合わせ 総務キャップ 井上恵子

電話&FAX 042-492-2592 090-2234-5844

◇会費の納入などに関する問い合わせ 会計キャップ 眞鍋雅光

電話&FAX 03-3302-2987 090-9300-4736

会費振込先 郵便振替口座記号番号 00150-8-291146 口座名称 眞鍋雅光(マナベ マサミツ)

◇ホームページに関する問い合わせ ホームページキャップ 阿武信夫 電話 048-822-7228

◇編集に関する問い合わせ 編集キャップ 三田村久子 03-3630-0988 090-9239-2105

緊急連絡先

◆阿武信夫(会長)

電話&FAX 048-822-7228 携帯:090-5429-1685

◆熊澤美恵子(リーダーキャップ)

電話&FAX 042-492-6971 携帯:090-5318-0292

◆三ツ谷征志(遭対キャップ)

電話&FAX 042-324-5854 携帯:090-6021-1457

◆三ツ谷征志(保険担当)

電話&FAX 042-324-5854 携帯:090-6021-1457

1月の山行プラン

★10097回

大垂水峠～高尾駅(南高尾)

期日 1月8日(日)

A 中級

集合・出発 京王線高尾山口駅9時00分改札口

地図 昭文社／高尾・陣馬

持物 一般登山用具

コース 高尾山口駅(タクシー)＝大垂水峠一大洞山－展望台－西山峠－三沢峠－草戸山－草戸峠－四辻－高尾駅

歩程 5時間

ポイント 陽だまりを求めて入山者の少ない南高尾山稜を歩く。

申込み 1月6日(金)まで

リーダー 藤田勝平 090(1458)7850

SL 三橋ヨシエ 090(9016)1410

備考 時間を見てショートカットする場合があります。

★10098回

千葉 大町自然公園(下総台地)

A 級

期日 1月14日(土)

集合・出発 JR 武蔵野線市川大野駅改札口

10時30分

地図 1/2.5万図／松戸、船橋

持物 ウォーキング用具・昼食

コース 市川大野駅－大野緑地－駒形神社－駒形大神社－大町自然公園(自然博物館・動物園・植物園)－北総線大町駅

歩程 4時間

ポイント しは故障中なので街歩きます。都市化が進む中、下総台地を守ろうとする運動の声により残された自然保全地域を訪れます。

申込み 1月12日(木)まで

リーダー 熊澤美恵子 090(5318)0292

★第 10099回

六国峠ハイキングコース

期日 1月21日(土)

A 中級

雨天順延

集合・出発 京急品川駅8時17分発特急三崎口

行前方車内

地図 1/2.5万図／戸塚、鎌倉

持物 一般登山用具

コース 金沢文庫駅－ハイキングコース入口－能見堂跡－不動池・関谷不動尊－能見台高区貯水槽－釜利谷市民の森－金沢自然公園－天園－瑞泉寺－大塔宮＝鎌倉駅

歩程 約3時間30分

ポイント 横浜市金沢区の能見堂緑地から鎌倉まで、自然豊かで広大な緑地にあるスポットを巡り歩き、天園ハイキングコースを下る。

申込み 1月19日(木)まで

リーダー 服部千重子 03(5934)6131

080(1076)1510

備考 コースが多数あるため、変更する場合があります。

★10100回

千葉 富山(350m)

A 中級

期日 1月24日(火)

雨天順延

集合・出発 JR 東京駅総武線快速 8時01分発

君津行 木更津駅 9時21分着同駅発 9時31分 JR 内房線上総一ノ宮行 岩井駅 10時23分着(リーダーは錦糸町駅から乗車)

地図 1/2.5万図／保田、金束

持物 一般登山用具

コース 岩井駅(タクシー)＝福満寺入口－富山－伏姫籠穴－富山中学校－水仙遊歩道登り口－展望台－遊歩道下り口－岩井駅

歩程 約5時間

ポイント 山頂からは東京湾や房総の山々の大パノラマが広がります。また、「南総里見八犬伝」ゆかりの山としても人気があり、この季節には一面に咲くスイセンが楽しめます。時間があれば道の駅・富楽里とみやまにも寄ってみましょう。

申込み 1月22日(日)まで

リーダー 三田村久子 090(9239)2105

★10101回

奥武蔵 宝登山の蠟梅鑑賞

期日 1月28日(土)

A 中級

集合・出発 秩父鉄道長瀬駅9時40分改札口前
参考★JR 大宮駅7時59分発籠原行 熊谷
駅着8時36分 同駅8時45分発(秩父鉄
道)長瀬駅9時32分着

★西武鉄道池袋駅7時02分発飯能行
急行 飯能駅7時49分着 同駅7時
52分発長瀬行 長瀬駅9時19分着

地図 昭文社／奥武蔵・秩父

持物 一般登山用具

コース 長瀬駅—宝登山神社—宝登山頂上—
野上峠—氷池分岐—氷池—長瀬駅

歩程 3時間

ポイント 満開の蠟梅に会えるかな。

申込み 1月26日(木) 20時まで

リーダー 阿武信夫 048(822)7228
090(5429)1685

anno_nobu@ybb.ne.jp

SL 網代節子 03(3636)4793

山行ルポ

★10083回

官ノ倉山～石尊山

A 中級

期日 10月22日(土)

竹沢駅から改札の反対側に出てJRと国道
を超える。立派な家の屋敷内に道路沿いまで
野菜や花が作られている。背の高い赤いダリア
がひととき目を引いた。そんな里の景色に魅
入られて山へ入る。三光神社を過ぎて天王沼
で休む。錦鯉が泳いでいて桜の大木もあり、地
元の憩いの場としての人工池と書かれている。

ここから植林の中、九十九折りに登っていく
と大きい葉のシダが足元を隠す。こんなにきれ
いなシダは珍しい。官ノ倉峠からは岩がゴロゴ
ロ出てきて頂上は紅葉が始まっていた。少し行
くと標高差のあまり無い石尊山だ。集合場所
のように次々とグループが登ってきて賑やか
になった。霞む北側の山々をゆっくり傍観して
下山。急斜面のザレは足場があり、木をつかん
で鎖無しでも大丈夫で、林道に出た。北向不動
は崖の中腹に祀られていて、怖いぐらいの狭い
石段が付いている。下には小さい沢から修行
の場へ水が落ちている。

昼食をとりながら交代でお参りした。往路の
里歩きは青空に映える路上の柿を愛で少し頂
いた。

あとは晴雲酒造へと足は軽くなった。が、当
日は団体客の予約が優先で、一般席が満員の
ため2時間待ちと言われ、お土産を買うことも
出来ず、店先で解散した。(三橋ヨシエ)

(参加者) L阿武信夫・SL 網代節子・藤田弘
治・今西光輝・三橋ヨシエ・ゲスト松本雄子
(計 6名)

(コースタイム)竹沢駅8:25—三光神社8:45—稜
線9:50—官ノ倉山10:10—石尊山10:30—北
向不動11:10—八幡神社12:50—晴雲酒造13:
10—小川町駅13:40

★10085回

集 中山行② 八幡山コース

A 中級

期日 10月30日(日)

天候に恵まれないことが何度かあった行事山行
だが、この日は文句なしの晴天、絶好の登山日和だ。
秩父鉄道の無人駅「桜沢」から10分程度で登山口
の八幡大神社に着いた。本殿と神楽殿の右脇に八
幡山・鐘撞堂山登山口の道標がある。いきなりの急
登で始まるが、それほど長くはなく、最初のピーク
で一休み。八幡山はまだ先かと思ったが、すぐに手
書きで赤い文字の「頂上」標識が目に入る。「八幡山
①」の表示もあり、この先八幡山②～⑦まで表示が
出てくる。

樹林のなだらかな尾根道は多少アップダウンが
あるが、いくつかの分岐を過ぎて本段が現れると急
登になる。巻道もあるが、けっこう長い木段をがん
ばって登ると展望台が見えてきて頂上に着いた。

天気が良いので登山者は多い。東屋では先着し
ていた藤田リーダーのパーティーがお汁粉の準備
中。食材の用意、重い物の運搬、調理等々すべてお
んぶにだっこでごちそうになり、恐縮の極み。感謝
です。

お腹がいっぱいになったあとは記念撮影と各パ
ーティーの紹介で短いセレモニーを終える。食べる
ことに専念して景色をろくに見なかったので展望台
に上がって一望してから下山にかかる。下山は大正
池コースへ。登りのコースとは違い、ゆるやかで道
幅もあり、山道は短い。林道を経て舗装道路を歩き
ながら、コスモスや鈴なりの柿、ユズなど、秋の風物
を愛でつつ寄居駅へ。

さわやかな秋空のもと、和気あいあいの集中山
行ができて幸いだった。(服部千重子)

(参加者) L服部千重子・井上恵子・今西光輝・奥山富士子・熊澤美恵子・桑崎せつ子・藤沼淑江
(計7名)

(コースタイム) 桜沢駅9:40—八幡大神社 9:52—
八幡山 10:17—十二社分岐(市町界尾根)10:
50—鐘撞堂山 11:40~12:55—山道終点 13:
20—大正池 13:40—寄居駅 14:13

★10086回

集中山行③大正池コース

A 中級

期日 10月30日(日)

風もない穏やかな秋晴れに恵まれ、10時半、寄居駅北口から立派な寄居町役場を左に見ながら、二つ目の道を右折。大通りに出て天沼陸橋入口交差点を直進して大正池に向かう。道端には赤や、白のコスモスが綺麗に咲いていてカメラに収める。途中、民家で柿を取っていた。我々も一個ずつ頂いた。

大正池で一息入れ、そのまま真っ直ぐ進み竹林を過ぎ、鐘撞堂山の登山口から右手の山道に入り、高根山への道を左に見送り、急な木段の階段はきついの、側道を歩いて立派な東屋と展望台が立つ鐘撞堂山頂に着いた。

山頂では、すでにお汁粉の用意ができており、お汁粉をいただき、みんなと楽しいひと時を過ごした。記念写真を撮った後、それぞれのコースで下って行った。我々は皆さんが余り通らない円良田集落に下り、円良田特産センターでゆっくりお茶し、円良田湖を半周し羅漢山から五百羅漢を見ながら、少林寺経由で波久礼駅から帰った。(眞鍋雅光)

(参加者) 三田村久子、眞鍋雅光、柳瀬幸子、加藤和恵(計4名)

(コースタイム) 寄居駅10:30—大正池11:10—
鐘撞堂山12:00~13:00—少林寺15:20—
波久礼駅16:10

★10087回

集中山行④少林寺コース

A 中級

期日 10月30日(日)

秋晴れの空の下、寄居駅南口に集合、タクシー2台に分乗して少林寺へ。ここは「文殊菩薩」の寺とも言われ、合格祈願に訪れる受験生で賑わうそうです。本堂の横のジグザグの山道を登り始めました。「五

百羅漢」と記されていて、道沿いに表情豊かな石仏が並んでいました。30分ほどで羅漢山頂上に着き、その後は歩きやすいゆるい登山道で、最後、少し急な階段を登ると鐘撞堂山山頂に着きました。名前通り、小さめでしたが、鐘がありました。広めの東屋が運よくすいていたので、ここでお汁粉作りを始めました。リーダーその他のメンバーさんが、ガスコンロ、コッフェル、あん、お餅など運んでくださり皆で手分けして、お餅をゆでる人、お汁粉汁の調整、配る人と手際よく作りました。

次々に他のコースのメンバーも到着して、皆でおいしく頂くことができました。この山は関東百名山だそうで、山頂からの眺望がすばらしく、東京ドームの白い屋根が見え、関東平野が一望できました。その後、皆で集まり各コースの紹介、全員で記念撮影し、それぞれ下山に向かいました。私たちは短い急階段を下った後は、快適な遊歩道で歩きやすかったです。

ところどころイノシシが歩いた足跡がありました。30分も下ると集落があり、大きな柿の木にオレンジ色の柿が沢山実っていました。大正池で小休止して車道を30分ほどで寄居駅に着きました。出発ベルが鳴る中、親切な駅員さんが待っていてくれて、皆電車で走りこみました。八幡山コースのメンバーが先に乗っていて、早く帰ることができました。

登山道わきに紫色の花やマムシ草の赤い実など秋を感じる山行でした。(植村早苗)

(参加者) L 藤田勝平・SL 三橋ヨシエ・黒田正・森永孝子・網代節子・植村早苗(計6名)

(コースタイム) 寄居駅 9:30(タクシー)=少林寺
9:45~10:00—羅漢山 10:30—鐘撞堂山 11:
15—昼食(ぜんざい作り)各コース集合 13:00—
大正池 13:40—寄居駅 14:35

★10088回

中山道鳥居峠と赤沢自然休養林

A 中級

期日 11月3日(木・祝日)~4日(金)

今回の大目玉は2か所もあり、鳥居峠は日本百名峠で中山道の難所であつ古の秘境で木曾御岳がはるかに望めるところです。そのため歌人・文人はここを旅して紀行文を記しています。現在は、日本人はもとより外国人にも憧れの観光地となっています。

赤沢自然休養林は平安の頃より木曾檜として神社仏閣城郭の支柱に使われ、江戸時代の街にも火事の復興に使われました。その美林は永年何千年も

植林しながら培われてきました。近年は、森林浴発祥の地でもあり、その中を歩きます。

山行は、最新鋭の新宿バスタから高速バスで昔ながらの街が残る奈良井宿へ向かうが、秋晴れの絶好の日和のため、車が多く大渋滞になり1時間40分も遅れる。奈良井宿は昔の家屋が復元され、行き交う観光客は多かったが、峠の入口からは我らのみでした。

昔の中山道を落葉しぐれの中をしみじみ歩く。中の茶屋で、中山道で食べ損ねた昼のそばの代わりに、途中で仕入れたせんべい等を食べる。意外に早く峠に着き、ここからは紅葉黄葉の真ただ中を歩く。御岳神社へ寄るが、ここからは真の絶景。はるかかなたの木曽御岳が白く輝き神々しく見える。冬山の御岳、火山爆発と思いが駆け巡る。落葉しぐれの下りは、膝、腰が痛い我々二人にはやさしい。麓に下り藪原の街を歩くがシーンと静まり返り全く人通りがない中をあきれるほど歩く。無人駅の藪原から木曽福島へ。中山道の蔦屋は元禄時代からの旅籠で外観木造5階の風情ある宿でした。食事も地元の食材を使った豪華な食事でした。量も多かったが我々高齢者は皆たいらげるほどの食欲でした。

翌朝、駅まで木曽川沿いの街道を歩くと木曽川にかかる木橋の木曽御岳登山口に出会う。昔の案内図があり、とても感激し、更に御岳講の先達が道しるべとしたと思うとなおさら感動しました。

赤沢自然休養林までのバスは、ほぼ満員でした。森林鉄道で丸山橋で下車。他の観光客は、ほとんど一つのコースなのに我々は四つのコースを踏破しました。遊歩道はよく整備され歩き易く、案内標識もある。熊除けの鐘もあり程良く休場もあり、快調に歩きました。沢は水が清く、山砂岩、奇岩の上を流れて中々の眺めでした。

フィトンチッド(森林浴)を十分に浴び心も体も非常に回復しました。鉄道乗場に戻り、レストランでのビールがうまいことは言うまでもありません。参加の皆さんは、秋の景色を見ながら御岳を望み、往時の人々の往来を偲んだ。花も好きですが、木々が素晴らしく好きで、前から来たかった所です。歴史のロマン、武蔵とお通、義仲と巴御前が思い浮かぶ。素晴らしい紅葉で植林は日本の文化です。木曽路は初めてですが、すっかり気に入りました。奈良井から峠へは、祈りの道のように中山道を歩いた和宮みたいだった。

資料：塩尻市の観光案内、赤沢自然休養林散策マップ(上松町観光協会)、日本百名峠、檜笠日記(荒居幹雄著(サブリーダーの横塚さんの奥様の祖父が明

治時代に歩いた木曽路を日記風に毛筆で書いたもの) (三ツ谷征志)

(参加者) L三ツ谷征志、SL横塚征一郎、服部千重子、黒田正、松沢治子、金沢正秋、今西光輝、井上恵子、藤田弘治(計9名)

(コースタイム) 一日目/新宿 7:45(バス)=奈良井宿 13:00—鳥居峠登り口 13:40—中の茶屋 14:00~14:20—鳥居峠(峰の茶屋) 14:50—御岳神社 15:00—藪原駅 16:15~16:52—木曽福島駅 17:08—蔦屋 17:30

二日目/ 蔦屋8:45—木曽福島駅9:05(バス)=赤沢自然休養林 10:05~10:30(トロッコ列車)=丸山渡 10:40—冷水峠 11:00—榎窪 11:15—どんどん淵 11:35—御神木伐採地 11:50—アストロ橋 12:15—榎窪 12:35—ほうの木峠 12:46 赤沢台往復 13:05—赤沢バス停 13:30—14:30—木曽福島駅着 15:15

(歩程) 奈良井宿—藪原駅 6.4km 3 時間 15 分、赤沢自然休養林4コース 3.35km

★10090回

大沢山(奥多摩の山)

A 中級

期日 11月12日(土))

臨時の増発便に乗り都民の森バス停に着くと大勢の人々で賑わっていました。

もうおだんご屋さんも開いており、嬉しそうに頬張っている人を横目にまずは森林館をめざす。そこから先はウッドチップが敷かれている遊歩道になり、あんなに多かった人達も見かけなくなり静かな山歩きが始まりました。三頭大滝をみてから、そばにあるブナの路と石山の路分岐点から、ブナの路を行き、ムシカリ峠に出て大沢山を経由し石山の路を通って再び三頭大滝に戻る周遊コースでしたが、とても間違いをしてしまいました。石山の路へ入ってしまったのです。

ムシカリ峠だと思ったところは、檜寄山と石山の路の分岐点で、それに気づかず大沢山に行くべく檜寄山方面に歩き出しました。途中の道標で大沢山はとっくに過ぎていた事がわかり、檜寄山に行く事にして、西原峠から数馬バス停に下りました。

途中で、「あれ、変だな?」と思った事が何度もありましたが、きちんと確認もせず先頭者の後ろに続きました。

そして横寄山へ行く尾根道の下りで、参加していただいた方が、落ち葉に隠れた石につまずき転倒してしまいました。顔に擦過傷ができましたが、幸い大事に至らずに済みました。

もしこの道を通らなければ転倒もなかったのではないかと思うと、本当に大変な間違いをしてしまったと痛感しました。

そこで一週間後再び行き、ブナの路と石山の路の分岐の道標を確認し、予定していたコースを歩き、プラス三頭山にも寄ってきました。

ブナの路は、目に入ってくる景色すべてが落ち葉でおおわれ、大変綺麗な谷でした。(網代節子)

(参加者) L 阿武信夫・SL網代節子・藤田弘治
(計3名)

(コースタイム) 武蔵五日市駅8:10—都民の森バス停9時18分—出発9:30—森林館9:40—三頭の大滝10:40—分岐10:45—横寄山12:50—数馬バス停14:10—武蔵五日市駅

★10091 回
日光隠れ三滝 A 中級
期日 11月19日(土)

日光と言えば、日光東照宮、華厳の滝、中禅寺湖、湯葉が思い浮かんだ。日光隠れ三滝を私は知らず、見て見たくなり申し込んだ。東武日光駅バス停は大混雑していたが、私達が乗る霧降高原行は余裕で座れた。15分で日光隠れ三滝入口に到着し、まず丁字の滝を目指す。

日差しもあり、気持ちよい。すっかり落葉しており静かな道を進みカタクリ橋を渡ると丁字橋が見えてきた。下に降りると巨大な岩盤の上に何段にも流れ落ちる滝だ。緑の苔と落葉と所々の黄のイチヨウに癒される。次は玉簾滝の標識を見つけ丸太橋を渡る。

展望台で写真を撮るがピンとこない。リーダーもそうらしい。そのままマックラ滝に向かう。迫力がある。天然ミストのしびきが舞って全身にマイナスイオンを浴びながらの記念撮影。

滝前は広がっており、そこで昼食をとる。来た道を戻り玉簾滝展望台の脇のもう一つ下の道を見つけて降りる。さっきのモヤモヤが解消!! 素晴らしい。簾の様に幾筋にも分かれて落ちる滝だ。

バス停を目指す霧降の滝も見て帰ろうということになり、戊辰の道を歩き、ススキと季節外れのツ

ツジのツーツョットを見て霧降の滝に到着した。

帰りのバスまでたっぷりと時間があるので、山のレストランで美味しいデザートに舌づつみし、日光のお土産を買って帰った。とても楽しい山行でした。(海老沼美幸)

(参加者) L 三田村久子・藤田弘治・海老沼美幸・三橋ヨシエ・ゲスト榎戸登喜枝(計5名)

(コースタイム) 東武日光駅(バス)=隠れ三滝入口10:45—丁字の滝11:05—11:10—玉簾滝展望台11:25—マックラ滝11:55—12:40—玉簾滝13:00—13:05—霧降滝戊辰道入口13:35—霧降の滝14:06—14:10—山のレストラン—霧降滝バス停15:39—東武日光駅

★10092 回
大戸緑地から草戸山 A 中級
期日 11月27日(日) 26日を変更

山行予定の26日(土)が雨天だったので、27日に変更、前日の寒くて暗い天候とは打って変わった快晴の暖かい日になった。橋本駅北口バス乗り場から9時7分発大戸行きに乗り約30分、青少年センター入口で降り、大戸緑地に行きトイレ等を済ます。10時5分にここを立ち、約10分で雨乞い場の碑のある広場に着く。ここからは南側が開け、横浜のランドマークタワー、さらに房総半島の山がうっすら見えた。

樹林帯を登って行くと開けた小高い場所に出た。右側(東側)が谷になって、山の斜面の木々が広く切り取られ、小さい苗木が植林されている脇の道を北に向かう。10時40分権現平に着く。

ベンチがあった。低い山ではあるが、尾根道はアップダウンが続き、前日の雨で滑りやすい土や、木の根を覆う枯れ葉が少々歩きにくかった。

草戸峠の登山道分岐に30分ほどで着き、さらに20分ほどで草戸峠に着く。北側に高尾山が見える。高尾山麓は杉の緑と紅葉、黄葉で覆われ、陽光に照らされていた。草戸山に11時45分ごろ到着。石の鳥居とお社があり、木製の展望台があったが壊れかかっている、階段がトラロープで塞がれていた。ここからは南面が開けており、丹沢の山並みが見えた。頂上には何組かの先客がいたが、私たちも太い倒木などに座って昼食をとった。

12時15分くらいに草戸山を立ち、はなさき休憩所方向に下る。城山湖が木の間から見え始めてすぐ湖が目の前に開けた。アスファルトの道をしばらく

く歩くと金比羅宮。お宮から長い階段の参道を降り、本沢梅園の方に出るが、梅園は時期ではないためか閉じていた。

梅園の横から下り、評議原へ。リーダーの見込み通り評議原の紅葉がとても美しかった。いつまで見ても見飽きない赤のグラデーション。しかしバスの時間もあるので小松城跡に向けて歩く。1時50分、城跡に着き、往時を偲んだ。県道に出て小松橋バス停で乗る予定だったがバスはなく、境橋バス停まで行く。橋本行のバスになんとか間に合い、本日の山行は無事終了した。
(保木美恵子)

(参加者) L服部千重子・桑崎せつ子・中島水保子・保木美恵子・奥山富士子・井上恵子・金沢正秋・今西光輝・三橋ヨシエ(計9名)

(コースタイム) 橋本駅(バス)＝青少年センター入口 9:40—大戸緑地 9:50～10:05—雨乞い場の碑 10:15—権現平 10:40—段木入 10:55—草戸峠 11:30—草戸山 11:45～12:20—はなさき休憩所 12:35—城山湖(本沢ダム) 12:42—金比羅宮 12:57～13:02—評議原 13:12～33—小松城跡案内板 13:53—県道 14:15—境橋バス停 14:37＝橋本駅



低山だより

◎2023 年度 行事山行予定

- ・もちつき山行 2月26日(日)
- ・春の集中山行 6月4日(日) バス山行予定
- ・納涼山行 8月27日(日)
- ・秋の集中山行 11月12日(日)

場所は未定です。行きたい山域等ありましたらリーダーキャップまでお知らせください。

◎会報が読みやすくなるよう、12月号より文字ポイントを大きくしました。

◎1 月の山行プランについて

本1月号掲載の山行プラン5本(グレードの内訳、A級1本、A 中級4本)が11月30日の役員会で了承されました。

◎11月4日の No.10089回(戸倉山)は中止

◎令和5年(2023年)2月編集委員会は9日(木)、集会・役員会は24日(金)です。

◎11 月 30 日の集会出席者(順不同)

阿武信夫・網代節子・今西光輝・石川泰男・井上恵子・植村早苗・奥山富士子・熊澤美恵子・武井光子・服部千重子・眞鍋雅光・三橋ヨシア・三田村久子・村川征津子・森永孝子・山崎玉枝・横塚征一郎
計 17 名

【2022 年秋の集中山行会計報告】

2022年秋の集中山行は晴天に恵まれ鐘撞堂山に多数の会員の参加(17名)を得て、無事終了致しました。鐘撞堂山頂で皆でお汁粉を作り、おいしく頂きました。費用については会の会計から支出しました。参加された方々ありがとうございました。

項目	数量	出費 円
ガスボンベ	2	1,000
餅	2kg	1,200
餅	1Kg	498
あんこ	2kg	1,500
粒あん	400g	716
容器	20	220
白菜漬け	1	179
ピリ辛ごま		198
合計		5,511

山岳保険の JIRO を団体保険から個人保険に変更することについて

保険担当 三ツ谷征志

- ①私自身が、JIRO を退会するつもりです。
 - ②私は遭難対策委員保険担当を30数年行ってきました。新たな人に引継ぎを誰かにお願いするのも大変です。保険のとりまとめも大変で、継続か退会か不明の人が毎年20数人おり、保険担当の3人で電話を何度もかけたりしました。会費とその年の遭難費用が計算され、あとで数百円単位で追加請求されるなど、金額の計算が面倒です。
 - ③低山会ではこの保険を請求された実績がなく今後もあまり発生しないと思われるので、安全を考える人のみ、個人で加入するのが妥当だと思います。
 - ④加入数も少なくなり、団体割引の利益も少なくなりました。
- 以上の状況から判断しました。引継ぎして下さる方がおられましたらお願いいたします。



低山 通巻 691 号 2023 年 1 月号 発行/2023 年 1 月 1 日 発行人/阿武信夫(低い山を歩く会会長)
発行所/低い山を歩く会 〒330-0064 さいたま市浦和区岸町 7-3-3 ☎048-822-7228 頒価/300 円
(送料 120 円) 編集委員/三田村久子・浜橋保代・金沢正秋・山崎玉枝・伊東栄子・横塚征一郎
版下作成/横塚征一郎
〒185-0021 国分寺市南町 1-7-11 ☎042-323-6080